

広島商船高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	専門基礎 (情報)	
科目基礎情報							
科目番号	1914001			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	流通情報工学科			対象学年	1		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	『クラッチアイデアブッカーゼロから学ぶスクラッチプログラミング』 (カットシステム)						
担当教員	鈴木 理沙,岩切 裕哉						
到達目標							
前期はプログラミングの入門としてScratchを学び、後期はプレゼンテーションを中心に学びます。 Scratchでは、プログラミングを通じて、コンピュータのプログラムがどのように動作するのか仕組みを理解する事と共に、プログラム開発の基本的な手法を体験的に学び、あわせて論理的思考の習得を目指します。 また、作品作りを通して、課題設定や解決方法を身につけ、作品の発表によりプレゼンテーションスキルを身につけます。 後期は、プレゼンテーションを中心に学びます。1分間スピーチや、グループによるプレゼンテーション、相互評価等を行う予定です。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	自ら考え、関数を応用する事でより高度なプログラムを作る事ができる。			プログラムの作り方、動作の仕組み (乱数や変数等) が理解でき、簡単なプログラムを作る事ができる。		プログラムの作り方、動作の仕組みを理解していない。	
評価項目2	自らテーマを定め、ブレインストーミングによるアイデアを出す事ができる			任意のテーマについて、ブレインストーミングができるようになる。		ブレインストーミングができない。	
評価項目3	プレゼンテーションにおいて、自ら考え、具体例を用いてより分かりやすく伝える事ができる。			プレゼンテーションを通じて論理的に説明できる。		プレゼンテーションができない。	
評価項目4	自らプレゼンテーションを行うだけでなく、発表者に対して質問を行い、良かった所や改善点について正しく評価を行う事で、自らの成長につなげる事ができる。			自分の考えや主張を原稿を見ずにジェスチャーや視線、話し方に注意して、プレゼンテーションができる。		原稿を見ずにプレゼンテーションができない。	
評価項目5	自ら練習をしてタッチタイピングの能力をより高めることができる			タッチタイピングができる		タッチタイピングがでない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	前期はプログラミングの入門としてScratchを学び作品作りや発表を行います。 後期はプレゼンテーションを中心に学びます。						
授業の進め方・方法	Scraththによる作品作りやプレゼンテーション等といった演習を中心にを行います。						
注意点	タイピング練習も適宜行う予定です。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業の進め方と評価方法 Scratchの概要		Scratchの概要について説明できる。		
		2週	Scratchの基本操作 (スプライトとスクリプト)		スプライトとスクリプトについて説明できる。		
		3週	Scratchの基本操作 (乱数の使い方)		乱数の使い方について説明できる。		
		4週	Scratchの基本操作 (メッセージの仕組み、背景の変え方)		メッセージの仕組み等について説明できる。		
		5週	Scratchの基本操作 (変数の仕組み)		変数の仕組みについて説明できる。		
		6週	powerpoint スライド作成方法と作成		スライドを作成できる。		
		7週	スライド作成/プレゼンテーション		作成したスライドの改善ができる。		
		8週	スライド作成/プレゼンテーション		プレゼンテーションができる。		
	2ndQ	9週	Scratchによる作品作り (企画立案、マインドマップ)		企画書の作り方、マインマップについて説明できる。		
		10週	Scratchによる作品作り (実装)		Scratchによる作品作りができる。		
		11週	Scratchによる作品作り (実装)		Scratchによる作品作りができる。		
		12週	Scratchによる作品作り (実装)		Scratchによる作品作りができる。		
		13週	Scratchによる作品の発表 (実装・発表資料作り)		作品の発表ができる。		
		14週	Scratchによる作品の発表 (実装・発表資料作り)		作品の発表ができる。		
		15週	作品の相互評価		作品とプレゼンテーションの相互評価ができる。		
		16週	ポスター製作		作品のポスター作りができる。		
後期	3rdQ	1週	プレゼンテーションの概要		プレゼンテーションについて説明できる。		

		2週	伝えたい内容の整理の仕方	テーマに対するプレゼンテーションの目的とゴールについて説明できる。
		3週	伝えたい内容の整理の仕方	伝えたい内容の整理・分類ができる。
		4週	伝えたい内容の整理の仕方	聞き手の立場を考慮し、伝えたい内容のストーリーを作る事ができる。
		5週	伝えたい内容の整理の仕方	ストーリーがより伝わるようにするために、具体例や証拠の検討ができる。
		6週	プレゼンテーションの資料の作り方	プレゼンテーションの良い例と悪い例について説明できる。
		7週	プレゼンテーションの仕方	アイコンタクト、ジェスチャー、話し方について説明できる。
		8週	1分間スピーチ：準備	テーマに沿って、必要な情報を調査、検討する事ができる。
	4thQ	9週	1分間スピーチ：練習	効果的なプレゼンテーションができるように、リハーサルや改善を重ねる事ができる。
		10週	1分間スピーチ：発表・相互評価	聞き手に合わせて、伝えたい内容を正確にプレゼンテーションすることができる。
		11週	3分間スピーチ：準備	テーマに沿って、必要な情報を調査、検討する事ができる。
		12週	3分間スピーチ：練習	効果的なプレゼンテーションができるように、リハーサルや改善を重ねる事ができる。
		13週	3分間スピーチ：発表・相互評価	聞き手に合わせて、伝えたい内容を正確にプレゼンテーションすることができる。
		14週	グループによるスピーチ：準備	テーマに沿って、必要な情報を調査、検討する事ができる。
		15週	グループによるスピーチ：準備スピーチ：練習	効果的なプレゼンテーションができるように、リハーサルや改善を重ねる事ができる。
		16週	グループによるスピーチ：準備スピーチ：発表・相互評価	聞き手に合わせて、伝えたい内容を正確にプレゼンテーションすることができる。

評価割合

	作品作り・プレゼンテーション	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0